

# 平成29年度 あきたスマートカレッジ (報告) 連携講座

## U1～5：発見！ミュージアムゼミ

会場：秋田県生涯学習センター4階 第1研修室

【趣旨】秋田県立博物館との連携により、博物館の事業や館蔵資料について学ぶことができる講座です。専門スタッフが、「考古・歴史」「民俗」「地質・生物」「工芸」の世界にいきます。

講座記号	期 日	テーマ	講 師	参加者数
U1	6月1日 (木)	足もとの久保田城下 －掘り出された武家の暮らし－	主査(兼)学芸主事 新堀 道生 氏	37
U2	7月27日 (木)	妖怪博覧会 －秋田にモノノケ大集合－	主査(兼)学芸主事 丸谷 仁美 氏	33
U3	10月4日 (水)	鳥海山の自然史	主査(兼)学芸主事 鈴木 秀一 氏	34
U4	1月25日 (木)	植物を編む －暮らしの中の編組－	学芸主事 斉藤 洋子 氏	22
U5	3月17日 (土)	平成29年度 秋田県立博物館 調査研究報告会		36
合計				162名

今年度は趣向を凝らし、第1回が「考古・歴史」第2回は「民俗」第3回は「地質・生物」第4回は「工芸」と各回で分野が異なる講座でした。幅広い範囲からの学びの提供は博物館ならではの。どの講座も豊富な資料に基づきながら、それにぴったり合う説明をいただき大変分かりやすいものでした。ここではU1、U2を取り上げて紹介します。

U1では、佐竹義宣の都市設計、とくに旭川による物資輸送に基づいて、久保田城の設置や家臣の配置の理由を紐解いてくれました。現在の地図と比較しながら、馴染み深い場所が紐解かれていくので、大変面白くためになると好評でした。

U2では、時代を超えて描かれ続けてきた妖怪の姿が生き生きと描かれている点に留意して紹介してくれました。道具や動物に化けている妖怪、親分に仕えている鬼などには、自然と親しみが湧き、祀られないからこそよいような、日常的で高くないからこそ妖怪が成り立っていると言いたくなります。妖怪が長い年月を経て、今でも私達に話題をもたらす示唆を与えてくれます。人間世界が透けて見える妖怪たちの話は大変魅力的で、世相や精神性まで感じさせてくれた講座でした。



【U1】



【U2】